



まなびを通じたつながりづくり

生涯学習の推進

- 学習機会を提供する取組み
  - ・「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」の実施
  - ・「生涯学習セミナー」の実施
  - ・「おもてなし茶会」の実施
  - ・「生涯学習ルームフェスティバル」の実施
  - ・「家庭教育支援講座」の実施
  - ・「家庭教育支援出張型事業」の実施
  - ・まなびの成果を“提供したい人”から“提供を受けたい人”につなげる仕組みづくり「つるみまなびのわっか」
- 学習機会の支援及び広報周知
  - ・生涯学習ルーム事業の運営支援
  - ・生涯学習ルーム活動の広報周知

取組によりめざす指標

- 各事業（生涯学習ルーム事業、学び舎つるみを除く）の申込参加者数：定員の80%以上
- 事業への参加者のうち「取組を通じて新たな出会いや気づきがあった」と答える区民の割合：80%以上



まなびを通じたつながりづくり

花と緑豊かな環境の推進【新】

- 花と緑豊かな環境づくりの活躍の機会を提供する取組み
  - ・区民に寄付を募り花博30周年記念植樹を実施【新】
  - ・区の花の普及・啓発
  - ・種から育てる地域の花づくり活動事業の推進

人権教育の推進

- 人権教育の機会の提供及び人権啓発の取組み
  - ・ヒューマンシアター
  - ・人権啓発推進セミナー
  - ・「校下別人権学習会」
  - ・パネル展&ミニシアター
  - ・「街頭啓発」をはじめとするあらゆる場面での啓発活動

取組によりめざす指標

【花と緑豊かな環境の推進】

- 鶴見区が花や緑あふれるまちであると感じている区民の割合:85%以上【新】

【人権教育の推進】

- 各事業(パネル展&ミニシアターを除く)の申込参加者数:定員の70%以上
- 人権教育の取組みへの参加者のうち「人権に対する理解が深まった」「新たな気づきがあった」と回答する区民の割合:80%以上



## 学校教育の支援

### 教育支援の充実

- ニーズや意向を把握する各種取組み
  - ・教育行政連絡会(学校と区役所による連絡調整・協議)の開催 <小・中学校>
  - ・学校協議会への参加 <幼・小・中・高(20校園)>
  - ・校長会・教頭会への参画
- 校長経営戦略支援予算を活用した小・中学校への支援
  - ・教育活動サポート事業
  - ・民間事業者を活用した課外学習支援事業

(○発達障がいサポート事業に係るサポーター配置の充実)  
(令和2年度から教育委員会事務局所管事業と一元化)
- 「夢・未来」創造事業(出前授業)の実施
- 小・中学校の各種ボランティアやサポーター等を広報紙にて募集

### 取組によりめざす指標

- 区役所からの支援が学力・体力・情操教育等の向上につながったと思う校長・教頭の割合 : 90%以上





## 災害に強いまちづくり

## 防災意識の向上(自助)【新】

○区民の防災意識の向上を図ることはもとより、自助とその後の共助の重要性につながる意識向上に向けた出前講座や広報紙への掲載を行う。また、転入者には市民防災マニュアル等を活用した啓発を引き続き行っていく。

- ・出前講座の実施
- ・安全・安心フェスタの開催
- ・小学生・中学生を対象とした防災学習会の開催
- ・高校生に対する継続した防災学習会の開催
- ・広報つるみ防災特集号の発行
- ・転入者セットとして市民防災マニュアルと防災マップを配布

## 取組によりめざす指標

- 安全・安心フェスタへの参加者：  
のべ5,000人以上





## 災害に強いまちづくり

### 地域防災・減災力の向上（共助）【新】

○区民の共助に向けた防災意識の向上のため、地域と区役所、関係機関、学校等が連携したより実践的な訓練等を行う。また、訓練等へ新たな参加者を取り込むため、一般の方へ訓練実施を周知するとともに、訓練において地域の一般の方が参加しやすい訓練内容となるよう危機管理室地域防災力向上アドバイザーを活用した検討を行う。

- ・継続した避難所開設運営訓練の実施
- ・つるみんピックの開催
- ・災害時地域貢献協力事業所の情報を地域と共有し、協力事業所に訓練参加を呼びかける。

### 区災害対策機能の強化（公助）【新】

○災害時に備え、暑さ対策を中心とした防災資機材の確保・充実を図る。

- ・小学校へ避難所用のスポットクーラーの配備
- ・空調機器にも対応可能な汎用大容量発電機の購入
- ・通信設備導入による通信範囲の拡大及び各地域の自主防災組織との連携強化
- ・区地域防災計画などの取組みについて情報発信の強化

## 取組によりめざす指標

### 【地域防災・減災力の向上（共助）】

- 地域が行う訓練に参加し役立ったと答えた区民の割合：80%以上

### 【区災害対策機能の強化（公助）】

- 区地域防災計画などの取組みを知っていると答えた区民の割合：60%以上【新】



## 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

## 地域・関係機関と連携した防犯対策

○街頭犯罪発生件数の減少をめざしたさまざまな取組みを行い、防犯意識の向上を図る。

- ・防犯カメラの設置や取替
- ・防犯推進委員会を中心に各地域団体や警察署をはじめとする関係機関等が連携した区内一斉防犯活動
- ・区役所・警察署・各地域防犯組織（青色防犯パトロール隊、子ども見守り隊、防犯推進委員等）による合同連絡会の実施
- ・自転車2重ロックを推進するため鍵の取付けキャンペーン
- ・ひったくり防止キャンペーン

○特殊詐欺認知件数の減少をめざしたさまざまな取組みを行い、特殊詐欺の手口の傾向や高齢者を意識した被害防止啓発を図る。【新】

- ・特殊詐欺防止啓発の出張講座
- ・青色防犯パトロール車を活用した注意喚起
- ・防災行政無線を活用した認知状況の情報提供や注意喚起

## 取組によりめざす指標

- 区で実施している防犯事業が鶴見区の犯罪抑止につながっていると答えた区民の割合：85%以上
- 街頭犯罪件数 前年比△5%



## 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

### 地域・関係機関と連携した交通安全対策

- 交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな啓発活動等を行う。
  - ・子育て層への交通安全教室の実施
  - ・園児への交通安全教室の実施
  - ・警察署、区内の高校生と協働した自転車マナーアップキャンペーンの実施
  - ・地域からの要望に応じた、高齢者交通安全研修会の実施
  - ・高校生への自転車マナーの啓発
  - ・地域、関係機関と協働した放置自転車追放啓発活動
  - ・区内駐輪場マップの作成、配布

### 取組によりめざす指標

- 交通事故発生件数における自転車事故の割合30%以下（発生件数△30件）





## 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

### 地域活動協議会による自律的な地域運営の促進【新】

- 地域の実情に応じたきめ細やかな支援
  - ・まちづくりレポートを活用し、課題の解決に向け、地域の実情に応じたきめ細やか支援を行う
  - ・町会等の第一層支援のため、町会等に関する情報の発信を行う
- 地活協の意義・求められる機能の理解促進
  - ・地活協に期待する準行政機能についての認識を深めるための情報発信を行う
  - ・地活協として総意形成機能を発揮するための助言・指導を行う
- 区の状況に応じた支援の実施
  - ・まちづくりセンターと連携し、地活協の自立運営に向けた支援を行う

### 取組によりめざす指標

- 地活協の構成団体が自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた割合:90%
- 地活協の構成団体が地活協に求められている準行政的機能を認識している割合:80%
- 地活協の構成団体が地活協に求められている総意形成機能を認識している割合:60%
- まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合:85%



## 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- だれもが地域で健康に安心して暮らせるよう、すべての区民が、共に生き、共に支えあい、共に生活を楽しむ地域社会をめざして取組を進める。
- 地域で子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てできるまちの実現に向け、子育てを応援する。また、こどもたちの未来が環境に左右されることなく、自分の可能性を追求できるまちをめざす。
- 区民へ「まなびの場」が提供され、その成果が地域社会の活性化に活かされる社会をめざす。また、区民一人ひとりが自尊感情を大切にし、お互いを思いやり、支えあい、人権が尊重できる社会の実現をめざす。
- 災害に強いまちをめざし、区民一人ひとりの防災意識を高めるとともに災害への備えを強化する。また、安全なまちをめざし防犯、交通安全の取組を進める。
- 地域団体や企業等、多様な主体が、地域課題等を共有しながら地域の多様な意見を取組を的確に反映し、各主体が特性を発揮し地域課題に取り組む自律的な地域運営をめざして進める。【新】